

新潟県村上市及び胎内市沖 洋上風力発電事業 概要説明

村上胎内洋上風力発電株式会社

2026年1月20日

1. 村上胎内洋上風力発電株式会社の設立
2. 事業概要（昨年度からの主な変更点）
3. 漁業影響調査
4. 地域共生策の進捗状況
5. 前回協議会留意事項への対応状況（昨年度からの主な進捗）

1. 村上胎内洋上風力発電株式会社の設立

1. 村上胎内洋上風力発電株式会社の設立

- 2024年11月、三井物産株式会社(大手総合商社)、RWE Offshore Wind Japan村上胎内株式会社(世界2位の洋上風力運営実績を持つ独RWEの本邦子会社)、大阪ガス株式会社(国内大手ガス会社)の3社を株主とする「村上胎内洋上風力発電株式会社」を設立致しました。

1.会社概要

社名	村上胎内洋上風力発電株式会社
設立	2024年11月
所在地	東京事務所： 東京都千代田区大手町2-2-1 新大手町ビルディング 9階 xLINK105 新潟事務所： 新潟県新潟市中央区東大通2-4-10 日本生命新潟ビル9階 胎内事務所： 新潟県胎内市本町3-34
事業内容	洋上風力発電事業の開発・建設・運営

2. 株主のご紹介

三井物産株式会社	東京都千代田区大手町一丁目2番1号
事業概要	1947年設立の総合商社。金属資源、エネルギー、モビリティ、化学品、プロジェクト本部など、16 の事業本部が幅広い事業領域を展開しており、再生可能エネルギー事業にも注力。
RWE Offshore Wind Japan 村上胎内株式会社	東京都千代田区丸の内一丁目8番3号 丸の内トラストタワー本館5階
事業概要	1898年ドイツで発電事業を開始。発電設備持分容量は39.3GW。洋上風力持分容量は3.5GW(世界第二位)。蓄電池、水素経済の構築にも貢献。

大阪ガス株式会社	大阪府大阪市中央区平野町四丁目1番2号
事業概要	1905年事業開始、近畿を中心に都市ガスを供給。主な事業は『国内エネルギー(ガス・電力)』、『海外エネルギー』、『ライフ&ビジネス ソリューション』再エネ電源開発から供給まで一貫して行い、低・脱炭素社会の実現に貢献。

2. 事業概要

2. 事業概要(昨年度からの主な変更点)

■ 事業の名称

新潟県村上市及び胎内市沖洋上風力発電事業

■ 発電設備出力

15MW級 x 46基【註1】

■ 工程 (予定)

- ・環境影響評価：2021年～2027年半ば
- ・陸上建設工事：2025年10月～
- ・洋上建設工事：2028年4月～
- ・商業運転開始：2029年6月【註2】

■ 地域貢献基金

発電設備出力(kW)の規模に、kW当たりの単価(250円)と公募占用計画の最大認定期間(30年)を乗じた額を基金として出捐。

(用途については今後の法定協議会で議論・決定予定)



註1：風車については15MW級の機種を想定し、検討を進めております。今後、メーカーとの協議を経て最終的に決定いたします。

註2：商業運転開始日に就きましては、風車仕様の変更、並びに、長期脱炭素電源オークション活用の可能性等を含め、全体スケジュールを精査中です。今後、変更が生じる場合は改めてご報告致します。

3. 漁業影響調查

3. 漁業影響調査(調査開始までのスケジュール)

- 「新潟県村上市及び胎内市沖における協議会意見とりまとめ」に示される「新潟県村上市及び胎内市沖において実施する漁業影響調査の考え方」(別紙1)に基づき、モニタリング調査については着工前1年、工事期間中、運転開始後3年を目安として、対象魚種の特性を踏まえつつ、影響評価に必要な期間を設定します。また、調査結果に基づき影響の有無・程度を判断し、必要に応じて調査期間の延長や追加調査の実施を検討します。
- また、同「考え方」に基づき、工事着手予定の1年前にあたる2027年4月から漁業影響調査を開始する計画です。
- この計画については、これまでの関係漁業者ヒアリングおよび今後の意見に配慮し、「漁業影響調査計画書(案)」を作成します。その上で実務者会議に諮り、同会議でのご審議・ご助言を踏まえて、本年前半までに計画書を確定する事を目指します。

検討状況	実施項目(実施年月)	協議概要
	漁業者への概要説明 (2025年2-3月)	関係漁業者の皆様へ調査概要等を説明し意見交換を実施
	第1回漁業者ヒアリング (2025年4-5月)	既存資料等から作成した調査計画(素案)を説明し意見交換を実施
	第2回漁業者ヒアリング (2025年8月)	前回ヒアリング結果を反映した調査計画(素案)を説明
	第3回漁業者ヒアリング (2025年8-10月)	更なる意見交換を実施計画書案に漁場実態等を反映する予定

今後の予定	2026												2027					
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6
	計画書案の作成																	
		実務者会議																
			調査準備															
				調査														

4. 地域共生策の進捗状況

4. 地域共生策の進捗状況

- 当社は、昨年度11月の法定協議会以降、主に以下のような活動を行っております。
- 今後も新潟県・村上市・胎内市の方々との密なコミュニケーションを行い、地域の皆様と連携して参りたいと考えております。

項目	イベント	日時	場所
1. 陸上工事の事業参画機会説明会	・村上市事業者連絡会主催の「陸上工事事業参画説明会」	2024年11月25日	村上市生涯学習推進センター
	・胎内市主催の「陸上工事事業参画機会説明会」	2024年12月4日	胎内市産業文化会館
	・新潟県主催の「陸上工事事業参画機会説明会」	2024年12月18日	新潟県自治会館
2. 県内大学との産学連携	・新潟大学との産学連携についての意見交換	2025年7月9日 2025年10月3日	新潟大学 弊社新潟事務所
	・新潟食料農業大学との産学連携についての意見交換	2025年12月18日	新潟食料農業大学
3. 村上市・胎内市の小中学校への出前授業	・岩船中学校校外学習対応	2024年8月30日	村上市役所
	・にいがた脱炭素プロジェクト「中学生円卓会議」 出前講座	2024年11月1日	中条中学校
	・岩船小学校向け出前授業	2025年2月21日	岩船小学校
	・岩船中学校の修学旅行生を事業会社（東京）で受入	2025年4月22日	弊社東京本社
	・瀬波小学校向け出前授業	2025年10月3日	瀬波小学校
4. 首都圏における新潟県水産物のプロモーション	・三井物産での新潟県産の水産物を使った料理提供 ・Open Dayイベントでの新潟県特産品のPR活動	2025年9月17～18日 2025年10月25日	三井物産 本店
5. 地域のイベント関連	・観光地クリーンアップ作戦（岩船海水浴場）への参加 ・岩船大祭への協賛 ・地域イベントへの参加	随時	地域内各所

4-1.陸上工事の事業参画機会説明会

- 説明会には県内企業様約200名にご来場頂き、情報提供と協議を通じ、現在、28社の県内企業様を採用し連携を進めています。
 - ✓ 2024年11月： 村上市事業者連携連絡会主催の「事業参画機会説明会」により県内企業様から多数エントリーシートを受領
 - ✓ 2024年12月： 胎内市主催の「事業参画機会説明会」により県内企業様から多数エントリーシートを受領
 - ✓ 2024年12月： 新潟県主催の「事業参画機会説明会」により県内企業様から多数エントリーシートを受領
 - ✓ 2025年6月～： 請負業者等とエントリーシートご提出企業様と連携に向けた取組みを開始



胎内市主催の「事業参画機会説明会」の様子

- ・ 地域への貢献、洋上風力産業の発展や人材育成に向けた産学連携の可能性について県内大学との意見交換を実施しました。
- ・ 胎内市の中学校向けに洋上風力の概要・意義を理解頂けるよう出前授業を実施。また、村上市の中学校の修学旅行生を受け入れ、企業活動や事業の意義を学ぶ機会を提供しました。
- ・ 村上市の小学校に対して出前授業や風車模型を使ったワークショップを行い、脱炭素・再生可能エネルギーへの理解を深める教育支援を実施しました。

県内大学 との連携

新潟大学

- ・ 風況データ解析に関する共同研究を開始。（※株主のRWEが主体）
- ・ 相互の発展と地域社会への貢献を図るための産学連携協定に関する意見交換を実施。



新潟大学

新潟食料農業大学

- ・ 2023年に洋上風力産業の発展、人材の育成とその活性化を目的として産学連携に関する覚書を締結し、同目的の実現可能性に就き意見交換を開始。



新潟食料農業大学

出前授業 ・ 校外学習

胎内市立中条中学校

- ・ 新潟日報主催のにいがた脱炭素プロジェクト「中学生円卓会議」に関連し洋上風力の概要・意義を理解頂けるよう出前授業を実施。



当社での修学旅行生受入の様子

村上市立岩船中学校

- ・ 昨年、当社の東京事務所にて、村上市立岩船中学校の修学旅行生の受け入れ、企業活動及び事業の意義を学ぶ機会を提供。



瀬波小学校での出前授業の様子

村上市立岩船小学校・村上市立瀬波小学校

- ・ 村上市立岩船小学校の6年生及び村上市立瀬波小学校の6年生を対象として、洋上風力の講義と風車の模型を用いたワークショップを通じて、脱炭素・SDGs・洋上風力の意義に触れる機会を提供。

4-4.首都圏での新潟県水産物・農産物のPR実施

- 新潟県水産物の首都圏における知名度向上の切欠とするべく、首都圏でのプロモーションとして、1日約2,000人が利用する三井物産本店社員食堂(東京)で、新潟県産の水産物を使った料理提供等のPRイベントを実施しました。
- 三井物産本店イベント「Open Day」では、農産物を含む新潟県特産品を配布し、参加者の皆様から大変好評を頂きました。

三井物産本店食堂 でのPR活動

- 新潟県水産物の消費拡大へのPR活動の一環として三井物産本店の社内TVで「新潟水産物のフェア」を告知を行い、社員食堂（1日の利用者数 約2,000人）で新潟水産物フェアを実施。
- 「じじみたっぷり塩ラーメン」「炙りノドグロ丼」を各々100食超を提供。参加者からは好評を博した。



広報用の画像



Open Day（三井物産本店での家族向けイベント）での 新潟県特産品のPR活動（2025.10.25.開催）

- クリーンエネルギー事業の展示ブースと「太陽・水・風」をテーマとした謎解き、ゲーム会場で、新潟県の特産品（新米「コシヒカリ」、「岩船麩」、魚醤、海苔製品）を配布。



会場の様子



会場の様子

- 当社は、村上市・胎内市のイベントや、地域の取り組みに積極的に参加しています。

岩船大祭への協賛

当社は地域とのつながりを大切にし、岩船大祭に協賛いたしました。日頃からお世話になっている地域の皆さまの伝統文化を支える活動に参加することで、地域の理解を一層深める機会となりました。



岩船海水浴場ビーチクリーニング

当社は、村上市商工会主催の岩船海水浴場のビーチクリーニングに参加し、地域の海岸環境保全を目指し、地元関係者の皆さんと共に清掃活動を行いました。

5. 協議会留意事項への対応状況（昨年度からの進捗）

～ 留意事項（2）地域や漁業との共存及び漁業影響調査について～

【昨年度からの進捗を太字表記】

対応項目	対応状況
①丁寧な説明・協議を実施し地域や漁業との信頼関係構築	<ul style="list-style-type: none"> 当社はこれまで、本事業に対する御理解と御同意を賜るべく、新潟漁業協同組合、内水面漁協関係者、新潟県、村上・胎内市、地域関係団体、地元企業など、地域の関係ステークホルダーの皆様に対し、事業に関する具体的な事項の説明及び協議を重ねて参りました。 今後も引き続き、地域の皆様との丁寧な対話と連携に努めて参ります。
②協議会意見とりまとめの「4. 洋上風力発電を通じた村上市及び胎内市の将来像」に記載の趣旨を踏まえた提案をすること	<ul style="list-style-type: none"> 当社は、「4. 洋上風力発電を通じた村上市及び胎内市の将来像」に沿って、関係するステークホルダーであります新潟漁業協同組合、内水面漁協、新潟県庁、村上・胎内市との協議に着手しております。 また、本資料の10ページ目にある「4. 地域共生策の進捗状況」に記載の通り、陸上工事参画機会説明会の開催、県内大学との協議、小中学生向けの出前授業、地域イベントへの参加などを通じて地域の皆様と連携しながら各種取り組みを開始しております。
③基金への出捐等の総額	<ul style="list-style-type: none"> 風車機種選定後、基金額が決定されます。
④基金への出捐額・使途等についての協議会構成員との協議	<ul style="list-style-type: none"> 各年度に出捐する金額、使途等につき、出捐金の受入先の協議会構成員と必要な協議を行う方針です。
⑦共生策実施の際に海面及び内水の両方の関係漁業者との協議を行うこと	<ul style="list-style-type: none"> 当社は、本海域における海面及び内水面の双方の関係漁業者の皆様と事業に関する具体的な事項について協議を重ねて参りました。今後も引き続き協議を進めて参ります。
⑧協議会実務者会議での議論を経て、漁業影響調査の設計・決定すること	<ul style="list-style-type: none"> 本資料の8ページ目の「3. 漁業影響調査」に記載の通り、協議を継続して参ります。

～ 留意事項（3）洋上風力発電設備等の設置位置等についての留意点 ～

【昨年度からの進捗を太字表記】

対応項目	対応状況
①埋設等含めた設置方式等につき関係漁業者への丁寧な説明・協議	<ul style="list-style-type: none"> 当社は、風車機種変更に伴う新レイアウトを前提として、漁業実施工業の範囲や漁業の手法等に関し、新潟漁協（本所、北蒲原支所、岩船港支所）との協議を今後行います。
②設置位置・方式の配慮	<ul style="list-style-type: none"> 当社は、「新潟県村上市及び胎内市における協議会意見とりまとめ」の別紙2に記載されている「発電設備等の設置に制約が生じる範囲」には洋上風力発電設備を設置しないこと、水深20m以浅の海域（離岸距離2km以内の範囲）には風車を設置しないこと、また、海底ケーブルについては30年間露出しない深さに埋設することという基本方針に変更御座いません。 これらの基本方針に基づき、日本海洋石油資源開発株式会社、粟島汽船株式会社、新潟漁協をはじめとする地元関係者の皆様との協議を継続しております。
③岩船港を入出港する船舶の通航路における安全航行の確保	<ul style="list-style-type: none"> 当社は風車機種変更に伴う新レイアウトを前提として、安全航行の確保に向けて、十分な準備期間を確保した上で、航行安全委員会を複数回実施し、必要な対応策を適切に講じて参る所存です。
⑥洋上風力発電設備等の設置に当たり船舶航行安全の確認	<ul style="list-style-type: none"> 当社は、当社は風車機種変更に伴う新レイアウトを前提として、安全航行の確保に向けて、十分な準備期間を確保した上で、航行安全委員会を複数回実施し、必要な対応策を適切に講じて参る所存です。

～ 留意事項（6）環境配慮事項について～

【昨年度からの進捗を太字表記】

対応項目	対応状況
①環境影響評価の実施、地域住民に対する丁寧な説明、経済産業大臣の意見・勧告及び知事の意見を踏まえた必要な対策	<ul style="list-style-type: none">現在、「計画段階環境配慮書」及び「環境影響評価方法書」の手続き並びに調査・予測・評価の工程は既に完了しております。また、「環境影響評価準備書」に就きましては、経済産業省産業保安グループ 電力安全課へ今年の2月に届出を行う予定です。当社は、環境影響評価法その他関係法令に基づき、発電事業に係る環境影響評価を適切に行うとともに、地域住民に対し丁寧に説明する方針。また、同法に基づく経済産業大臣の意見・勧告及び知事等の意見を踏まえ、必要な対策を講ずる方針です。